



三気の門

PORTAL SANKI

NO.21

2026.10.20

文責：佐藤正一

SNSは危険すぎる！子どもを巻き込む犯罪が多発！

～子どもの SNS を監視するのは保護者の責任～



他の中学校で SNS が原因の事件や触 法行為がたくさん起きています。事例を見ると、本当に「携帯がなければ…」「SNS が使えなかったら…」こんな大変ことには、ならなかったのにおも と思うものばかりです。

SNS で他校の不良生徒とつるんで警察に逮捕された。SNS で知り合った他校生徒と煙草を吸った、酒を飲んだ、万引きしたで警察に補導。

家出をして SNS で知り合っただけの人間のところへ行って性被害に合った。もう目を覆いたくなる事例が山ほどあります。

幸いにも保見中学校は言葉の壁があるのか、他校とつながって問題行動を起こすことは、少ないです。しかし、他校の様子を見ていると、いつ、巻き込まれてもおかしくはないです。

外国では未成年に SNS を使用させるのを禁止しているところもあります。SNS が心に与える影響は大きいのです。端末に掲載される言葉が、子どもに安心感を与え、洗脳されていくのです。そして呼び出されて事件に巻き込まれる。

日本も SNS の禁止を検討する時期なのに、経済界の圧力なのか、そういう気配は一切ないです。これでいいのでしょうか。私は疑問に思っています。

子どもは未熟です。心に隙もあるし、知識もない。素直だから SNS の言葉や不確かなネット情報、AI のアドバイスに騙される。

子どもを守れるのは善良な大人です。特に保護者は子どもに端末を買い与えて、使用料を払っています。大切な子どもを守る一番の存在です。

スマホを買い与えたのならば、その使用に対して全面的に責任をもつのは保護者です。個人情報 を監督できるのも保護者しかいません。学校ができるのは使い方の指導と事件が起きた後の対応だけなのですから。